

小田原市教育委員会



まごころ通信

～教育長から皆さまへの

緊急メッセージ～

臨時号

令和2年3月4日発行

編集・発行 教育総務課

小田原市立小・中学校、幼稚園の臨時休業及び卒業（園）式等の緊急対応について

小田原市教育委員会 教育長

栢沼行雄

児童・生徒の皆さん、保護者の皆さま、教職員の皆さまへ

小田原市では、全ての市立小・中学校と幼稚園が、3月2日から臨時休業といたしました。このことについて改めてお知らせします。

2月28日にお配りした手紙には、臨時休業に併せて、部活動は一切行わないこととすることや、卒業式については、卒業生と教職員のみで実施することとし、保護者の皆さまはご出席いただけないこととお知らせしました。

これに対して、「どのような理由で休業を決めたのか」また「卒業式には保護者の出席を認めて欲しい。」とのお問い合わせを多くいただきましたので、こういったことを中心にご説明します。

小学生、特に低学年の皆さんには難しいかもしれませんが、保護者の皆さまからご説明いただきたいと思います。（小中学生向けのメッセージも掲載したので、そちらも読んでみてください。）

2月27日に政府から全国の小中高・特別支援学校の臨時休業が要請されたことを受け、2月28日に市長と対応を話し合いました。



教育委員会としては、「子供の命を守ることが最優先」「感染拡大の防止に、この1・2週間で極めて重要な時期」ということを踏まえて、3月2日から春休み（本市の場合、春休みは26日からです。）までの間、児童生徒の「命」に対するリスクを最小限にするため、幼稚園も含めてすべての学校を臨時休業することが望ましいと考えていることを市長に伝え、3月2日から3月25日まで臨時休業することが決定されました。

それから、教育委員会として休業期間中の学校活動の取扱い等について検討しました。

まず、卒業式の開催時期については、中学校は3月11日、小学校は3月19日、幼稚園は3月17日に予定していましたが、感染拡大防止に極めて重要となる時期を避けて、できるだけ遅く開催することで状況が少しでも改善する可能性があると考え、一律3月25日に延期することとしました。

次に、卒業式の出席者の範囲については、児童生徒が成長した区切りを保護者や地域の多くの方に見ていただくことの意義は非常に大きいと考えていますが、大人の通勤等による行動範囲は児童生徒と比べて広範囲で、感染リスクは児童生徒よりも高いと考えています。

大人が卒業式に出席することで会場内の集団規模が拡大し、児童生徒の感染リスクが増すということになりかねず、児童生徒の「命」を最優先に考える教育委員会としては、卒業式を卒業生と教職員のみで行うこととしました。ただし、幼稚園については、卒園児が一人で幼稚園に行くことはできませんので、保護者にも出席していただくこととしました。

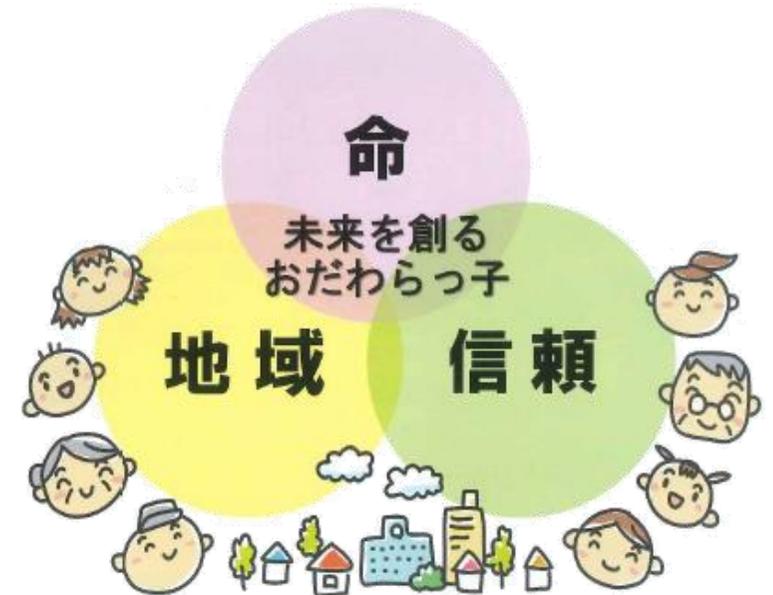
そして、部活動については、臨時休業の趣旨が感染拡大防止のため、できるだけ集団活動を行わないということにあるので、一切行わないこととしました。3月26日からの春休み期間も同様です。

教育委員会では、3月25日までの臨時休業に伴い、こうした対応を決定しましたが、今後、政府から新たな要請や見解が示されるなど状況の変化があれば、その都度適切に対応してまいります。

また、春休み以降の対応などについては、3月18日頃を目途にお知らせしたいと考えています。

以上、現時点での状況を率直に説明しました。

教育委員会では、引き続き情報収集に努め、児童生徒に感染を広げないために最善の判断と努力をしていきますので、ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



小田原市の小学生、中学生の皆さんへ

私は小田原市の教育長として、みなさんの命を守り大切にすること、みなさんが安心して安全に学校生活を送れることを、一番に大切なこととして、毎日考えながら働いています。

今、神奈川県だけでなく、日本のたくさんの市や県で、新型コロナウイルスによる感染症にかかる方、残念ながら亡くられる方がふえています。

そこで、私は、みなさんとみなさんのご家族が、この感染症にかからないよう、本当に悲しいのですが、春休みまで、小・中学校をお休みにすることにしました。

みなさんも残念で心残りとは思いますが、未来に向かって、今はじっと我慢をし、翼を休め、力をたくわえてください。そして、感染症の広がりが収まった時には、今まで以上に、大きく羽ばたいてほしいと願っています。命さえあれば、みなさんの未来も限りなく広がっていきます。

3月は、それぞれの進級や卒業、自分の進路に向けて、学校の先生方や家族のみなさんといっしょに様々な準備を進める、とても大切でかけがえのない毎日だったかと思います。これからの未来に向かって、期待に胸をふくらませながら、にぎやかに楽しく学校での生活を送っていたかと思います。

しかし今、みなさんのいない教室はとても静かです。でも、また学校の友だちや先生方と会える日がきっと来ます。また学校で一緒に勉強したり遊んだりする日をどのように迎えられるのかは、これからのみなさんの力にかかっています。このお休みをどのように過ごしたらよいのかご家族と一緒に考え、行動してください。困ることや悩むことがあったら、遠慮せず、学校の先生にも相談してください。次に会う日を楽しみに、一日一日を大切に過ごしてもらいたいと思います。

そして、一日も早く、日本や世界の国々に住む人たちが、元気に、いつもの毎日が送れるよう、心から願っています。

令和2年3月4日

小田原市教育委員会
教育長 栢沼 行雄

※小学校の下学年のみなさんはお家の人に読んでもらってください。